22:市川三郷町 (三珠町) 01:第1簡水 水源の種類:深井戸				
	過-	去の検査結果からの要確認	B.検査項目	
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	24/06/05	1.40	1/10 OVER	10mg/L以下
フッ素及びその化合物	23/06/07	0.09	1/10 OVER	0.8mg/L以下
マンガン及びその化合物	24/06/05	0.010	1/10 OVER	0.05mg/L以下
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	24/06/05	110	1/5 OVER	300mg/L以下
蒸発残留物	24/06/05	220	1/5 OVER	500mg/L以下
			_	
			_	

No.	検 査 項 目 名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1回)	2022	2023	#707 検査 表	F度 整回 数	計 画 設 定 理 由
1	一般細菌	0	0	0	0) 1	2	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
2	大腸菌	0	0	0	0) 1	2	が退水の女主性人は性が作能のため、爬行焼刺による快宜の差本回数で行う。 月1回
3	カドミウム及びその化合物	0	0	0	0	()	
4	水銀及びその化合物	0	0	0	0	()	
5	セレン及びその化合物	0	0	0	0	()	
	鉛及びその化合物	0	0	0	0	()	※ 3
7	ヒ素及びその化合物	0	0	0	0	()	
8	六価クロム化合物	0	0	0	0	()	
9	亜硝酸態窒素	0	0	0	0	()	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0	0	0	0) 4	1	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0	0	0) 1	1	*1
12	フッ素及びその化合物	0	0	0	0) 1	1	×1
13	ホウ素及びその化合物	0	0	0	0	()	
14	四塩化炭素	0	0	0	0	()	
	1,4-ジオキサン	0	0	0	0	()	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0	0	0	0	()	*3
17	ジクロロメタン	0	0	0	0	()	A ∪
	テトラクロロエチレン	0	0	0	0	()	
	トリクロロエチレン	0	0	0	0)	
20	ベンゼン	0	0	0	0	()	
21	塩素酸	0		0	0) 4	1	
	クロロ酢酸	0		0	0) 4	1	
	クロロホルム	0		0	0) 4	1	
24	ジクロロ酢酸	0		0	0) 4	1	
25	ジブロモクロロメタン	0		0	0) 4	1	
26	臭素酸	0		0	0) 4	1	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
27	総トリハロメタン	0		0	0) 4	1	
28	トリクロロ酢酸	0		0	0) 4	1	
29	ブロモジクロロメタン	0		0	0) 4	1	
30	ブロモホルム	0		0	0) 4	1	
31	ホルムアルデヒド	0		0	0) 4	1	
32	亜鉛及びその化合物	0	0	0	0	()	
33	アルミニウム及びその化合物	0	0	0	0) ()	
34	鉄及びその化合物	0	0	0	0) ()	* 3
35	銅及びその化合物	0	0	0	0	()	
36	ナトリウム及びその化合物	0	0	0	0	()	
37	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	1	1	% 1
38	塩化物イオン	0	0	0	0	1	2	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
39	カルシウム・マク゛ネシウム等(硬度)	0	0	0	0) 4	1	*2
40	蒸発残留物	0	0	0	0) 4	1	A4
41	陰イオン界面活性剤	0	0	0	0	()	* 3
	ジェオスミン	0	0	0	0	()	* 4
	2-メチルイソボルネオール	0	0	0	0	()	MT .
44	非イオン界面活性剤	0	0	0	0) 1		※ 5
45	フェノール類	0	0	0	0	()	※ 3
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0) 1	2	
47	pH値	0	0	0	0) 1	2	
48	味	0		0	0	1	2	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
49	臭気	0	0	0	0) 1	2	小坦小ツ女主は人はほ似睡節ツたの、爬11 M別による便且ツ莖平凹数(11 J 月1凹
50	色度	0	0	0	0) 1	2	
51	濁度	0	0	0	0) 1	2	
52	電気伝導率			0	0) 1	2	
53	残留塩素			0	0	1	2	
54	クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌					()	
	クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌					()	レベル1のため、指標菌及び原虫の検査を実施しない
56	クリプトスポリジウム等					()	
57	水質管理目標設定項目					()	
	净水処理等関連項目					()	
59						()	
60	ゴルフ場使用農薬類					()	
-								

	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
Ж3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
※ 4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められるため省略
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

22:市川三郷町 (三珠町) 02:第2簡水 水源の種類:深井戸

22:市川三郷町 (三珠町) 02:第2簡水 水源の種類:深井戸				
	過-	去の検査結果からの要確認	8検査項目	
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準
フッ素及びその化合物	24/06/05	0.09	1/10 OVER	0.8mg/L以下
クロロホルム	24/09/03	0.0129	1/5 OVER	
ジクロロ酢酸	24/09/03	0.006	1/10 OVER	0.03mg/L以下
総トリハロメタン	24/09/03	0.0156	1/10 OVER	0.1mg/L以下
トリクロロ酢酸	24/09/03	0.004	1/10 OVER	0.03mg/L以下
ナトリウム及びその化合物	24/06/05	26	1/10 OVER	200mg/L以下
カルシウム・マグ ネシウム等 (硬度)	24/06/05	63	1/5 OVER	300mg/L以下
蒸発残留物	24/03/05	170	1/5 OVER	500mg/L以下

No.	検 査 項 目 名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1 回)	2022	2023	今年! 検査!	計画設定理由
1	一般細菌	0	0	0	0	12	2 水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
	大腸菌	0	0	0	0	12	2
	カドミウム及びその化合物	0	0	0	0	0	
	水銀及びその化合物	0	0	0	0	0)
	セレン及びその化合物	0	0	0	0	0	
	鉛及びその化合物	0	0	0	0		<u>%</u> 3
	ヒ素及びその化合物	0	0	0	0	0)
	六価クロム化合物	0	0	0	0	0	
	亜硝酸態窒素	0	0	0	0	0	
	シアン化物イオン及び塩化シアン	0	0	0	0 0) 4	
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0	0	0) * 3
	フッ素及びその化合物	0	0	0	00) 1	
	ホウ素及びその化合物	0	0	0	0	0	
	四塩化炭素	0	0	0	0	0	
	1,4-ジオキサン	0	0	0	0	0	
	シスー1,2-ジクロロエチレン及びトランスー1,2-ジクロロエチレン	0	0	0	0	0	
	ジクロロメタン	0	0	\circ	0	0	<u>) </u>
	テトラクロロエチレン	0	0	0	0	0	
	トリクロロエチレン	0	0	0	0	0	
_	ベンゼン	0	0	0	0	0	
	塩素酸	0		0	00) 4	
	クロロ酢酸 クロロホルム	0		0	00	4	
		0		0	0 0) 4	
	ジクロロ酢酸			0		_	
	ジブロモクロロメタン	0		0) 4	
	臭素酸	0		0	00		4 消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
	総トリハロメタン	0		0			
	トリクロロ酢酸 ブロモジクロロメタン	_		0		_	
	プロモホルム	00		_	00) 4	
	ホルムアルデヒド	0		0	00) 4	
	亜鉛及びその化合物	0	0	0	0	0	
	アルミニウム及びその化合物	0	0	0	0	0	
	鉄及びその化合物	0	0	0	0	0	
	銅及びその化合物	0	0	\circ	0	0	
	ナトリウム及びその化合物	0	0	0) 1	
	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	
	塩化物イオン	0	0	0	00	12	
	カルシウム・マク゛ネシウム等(硬度)	0	0	0	00) 4	
	蒸発残留物	Ô	0	0	00) 4	
	陰イオン界面活性剤	0	0	0	0	0	
	ジェオスミン	Ö	Ō	Ō	Ö	0	
	2-メチルイソボルネオール	Ŏ	Ö	0	0	0	
	非イオン界面活性剤	0	0	0	0 0) 1	1 💥5
	フェノール類	Ŏ	Ö	0	0	_	<u>*</u> 3
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0 0	12	2
	pH値	0	0	0	0 0) 12	
	味	0		0	00	12	
49	臭気	0	0	0	00	12	2 小坦小ツ女主は入は住仏唯祕ツにの、爬11 M.別による快宜り基本出数で11 プー月1日
50	色度	0	0	0	0	12	
51	濁度	0	0	0	0	12	2
	電気伝導率			0	0 0	12	2
	残留塩素			0	0 0	12	
	クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌			Ш		12	
	クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌			Ш		_	2 レベル3のため、指標菌は1回/月、原虫は1回/3ヶ月にて検査を実施する
56				Ш	_	4	
	水質管理目標設定項目			Ш		0	
	净水処理等関連項目			Ш	_	0	
	原水放射能検査			Ш	_	0	
60	ゴルフ場使用農薬類					0	1

※ 1	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
※ 3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
₩4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められるため省略
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

22:市川三郷町 (三珠町) 03:下苫川簡水 水源の種類・通水

22:市川三郷町 (三珠町) 03:下芦川簡水 水源の種類:湧オ	(
	過-	去の検査結果からの要確認	忍検査項目	
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準
カルシウム・マグ ネシウム等(硬度)	24/06/05	43	1/10 OVER	300mg/L以下
蒸発残留物	24/06/05	87	1/10 OVER	500mg/L以下

No.	検 査 項 目 名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1回)	2022	2023	0 検:	年度	計 画 設 定 理 由
1	一般細菌	0	0	0	0) 1	2	1. 学 1. o. p. A. H. T. A. P. P. A. P. P. A. P. P. A. P. P. P. A. P. P. P. A. P.
2	大腸菌	0	0	0	0) 1	2	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
3	カドミウム及びその化合物	0	0	0	0		0	
4	水銀及びその化合物	0	0	0	0		0	
5	セレン及びその化合物	0	0	0	0		0	
6	鉛及びその化合物	0	0	0	0		0	* 3
7	ヒ素及びその化合物	0	0	0	0		0	
8	六価クロム化合物	0	0	0	0		0	
9	亜硝酸態窒素	0	0	0	0		0	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0	0	0	0) .	4	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0	0	0		0	
	フッ素及びその化合物	0	0	0	0		0	
13	ホウ素及びその化合物	0	0	0	0		0	
	四塩化炭素	0	0	0	0		0	
	1,4-ジオキサン	0	0	0	0		0	No.
16	シスー1,2-ジクロロエチレン及びトランスー1,2-ジクロロエチレン	0	0	0	0		0	※ 3
	ジクロロメタン	Ō	0	Ō	Ō		0	
	テトラクロロエチレン	0	0	Ō	Ō		0	
	トリクロロエチレン	Ŏ	Ö	Ō	0	_	0	
	ベンゼン	Õ	Õ	Ö	Ō		0	
_	塩素酸	0	Ť	_	0 0	_	4	
	クロロ酢酸	Ö		0	0	_	4	
	クロロホルム	Ö		_	0 0	_	4	
	ジクロロ酢酸	0			0	_	4	
	ジブロモクロロメタン	Õ			0		4	
	臭素酸	Ŏ		Ō	0 0		-	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
	総トリハロメタン	Ŏ		0	0	_		
	トリクロロ酢酸	Õ		_	0 0		4	
	ブロモジクロロメタン	0			0		4	
	ブロモホルム	Ŏ			0 0	_	4	
	ホルムアルデヒド	0		0	0	_	4	
	亜鉛及びその化合物	Ŏ	0	O	0		0	
	アルミニウム及びその化合物	Õ	Õ	0	Ō	_	0	
	鉄及びその化合物	Ō	Ŏ	0	Ō	_	0	
	銅及びその化合物	Ŏ	Ŏ	0	Õ		0	※ 3
	ナトリウム及びその化合物	Ō	Ō	0	Ō	_	0	
	マンガン及びその化合物	Ō	Ô	0	Õ		0	
	塩化物イオン	0	0	0	0 0	_	_	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	Ô	O	0	0		1	
	蒸発残留物	0	Ö	O	0		1	※ 1
	陰付ン界面活性剤	0	0	0	0	_		** 3
	ジェオスミン	Ö	Ö	O	0	_	0	
	2-メチルイソボルネオール	0	0	Ō	0		0	% 4
	非イオン界面活性剤	0	0	0	0 0	_	1	<u>*</u> 5
	フェノール類	0	0	_	0	_		×3
_	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	-	0 0		.2	
	pH値	0	0	_	0 0		2	
	味	0		0	0		2	
	臭気	0	0	0	0	_	2	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
	色度	0	0	0	0 0		2	
	濁度	0	0	0	0 (2	
	電気伝導率	V		\sim	0 0	_	2	
	残留塩素			Ö	0 0	_	2	
	クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌					_	4	
	クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌			Ħ	\dashv		4	レベル2のため、指標菌を1回/3ケ月にて検査を実施する
	クリプトスポリジウム等			\vdash	+		0	
	水質管理目標設定項目		l	H	-		0	
	净水処理等関連項目			Ħ	\dashv	_	0	
	原水放射能検査			H	\dashv	_	0	
	ゴルフ場使用農薬類			Ħ	\dashv	_	0	
	194 March 19 March 200 / 200		•			-		

₩1	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
Ж3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
₩4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められるため省略
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

22:市川三郷町 (三珠町) 04:桶田 水源の種類: 湧水

22:市川三郷町 (三珠町) 04:樋田 水源の種類:湧水				
	過去の	の検査結果からの要確認	B 検査項目	
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準
1/2,1/5,1/10 対象なし				

No.	検 査 項 目 名	浄水全面日	原水全項 日(年に 1回)	022	023	今年度 検査回 数	計 画 設 定 理 由
		_		2	9 9	_	
1	一般細菌	0	0	⊢		0	4
	大腸菌	0	0			0	4
	カドミウム及びその化合物 水銀及びその化合物	0	0	-		0	
	水蝦及びその化合物 セレン及びその化合物	0	0	-		0	4
		0	0	-		0	4
	鉛及びその化合物 ヒ素及びその化合物	0	0	-		0	4
	六価クロム化合物	0	0	-		0	1
	亜硝酸態窒素	0	0	-		0	1
	型明成態量系 シアン化物イオン及び塩化シアン	0	0			0	
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0	_		0	1
	フッ素及びその化合物	Ö	Ö	\vdash	\vdash	0	1
	ホウ素及びその化合物	0	0	1		0	
	四塩化炭素	Ö	Ö			0	1
	1,4-ジオキサン	Ŏ	Ŏ			0	1
	シスー1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン	Ō	Ō			0	1
	ジクロロメタン	0	Ō			0	1
_	テトラクロロエチレン	Ō	Ö	Ī		0	
	トリクロロエチレン	0	0			0	
20	ベンゼン	0	0			0	
	塩素酸	0				0	
	クロロ酢酸	0				0	
23	クロロホルム	0				0	
24	ジクロロ酢酸	0				0	
	ジブロモクロロメタン	0				0	
	臭素酸	0				0	予備水源のため、原水全項目検査を年1回行う
	総トリハロメタン	0				0	
	トリクロロ酢酸	0				0	
	ブロモジクロロメタン	0				0	
	ブロモホルム	0		_		0	1
	ホルムアルデヒド	0				0	4
	亜鉛及びその化合物	0	0	-		0	
	アルミニウム及びその化合物	0	0	-		0	
	鉄及びその化合物	0	0	-		0	4
	銅及びその化合物	0	0	-		0	4
	ナトリウム及びその化合物 マンガン及びその化合物	0	0	-	 	0	
	塩化物イオン	0	0			0	4
	塩化物イスン カルシウム・マグネシウム等(硬度)	0	0			0	1
	蒸発残留物	0	0	H		0	1
_	然光及笛物 陰イオン界面活性剤	0	0	H	\vdash	0	1
	医14/37 回省 IE 用 ジェオスミン	0	0	H	++	0	
	2-メチルイソボルネオール	0	0	H	++	0	
	非イオン界面活性剤	0	0	t	\vdash	0	1
	フェノール類	0	Ö	T	\Box	0	1
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0			0	
	pH值	Ö	Ö			0	
48		0				0	
49	臭気	0	0			0	
	色度	0	0		ЦĹ	0	
51	濁度	0	0			0	
52	電気伝導率					0	
	残留塩素			Ĺ	$oxed{LT}$	0	
	クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌			Ĺ	oxdot	0	
	クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌				\Box	0	
	クリプトスポリジウム等			L	Ш	0	
	水質管理目標設定項目		<u> </u>	L	$\sqcup \!\!\! \perp$	0	
	净水処理等関連項目		<u> </u>	L	$\sqcup \!\!\! \perp$	0	
	原水放射能検査		<u> </u>	L		0	
60	ゴルフ場使用農薬類					0	

※ 1	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
Ж3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
₩4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
% 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

23:市川三郷町 (市川大門町) 05:山保簡水 帯那水系 水源の種類:深井戸

23:市川三郷町 (市川大門町) 05:山保簡水 帯那水糸 水源	の種類: 深井戸							
過去の検査結果からの要確認検査項目								
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準				
鉛及びその化合物	23/06/07	0.002	1/10 OVER	0.01mg/L以下				
フッ素及びその化合物	23/06/07	0.09	1/10 OVER	0.8mg/L以下				
クロロホルム	24/09/03	0.0072	1/10 OVER	0.06mg/L以下				
アルミニウム及びその化合物	23/06/07	0.110	1/2 OVER	0.2mg/L以下				
鉄及びその化合物	23/06/07	0.06	1/10 OVER	0.3mg/L以下				
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	23/09/05	110	1/5 OVER	300mg/L以下				
蒸発残留物	23/09/05	190	1/5 OVER	500mg/L以下				
塩素酸	23/12/06	0.08	1/10 OVER	0.6mg/L以下				

1 → 投稿報	No.	検 査 項 目 名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1回)	2022	2023	7 検	年度 查回 数	計 画 設 定 理 由
3 大田の	1	一般細菌	0	0	0	0	C :	12	→ 学→ の空へ歴 フは歴 単位 親の A A - 一 生に相印に トノ 怜木の其 ナ 同教 でに 5 - 日 1 回
4 水果及びその化合物	2	大腸菌	0	0	0	0) :	12	水道水の女主性又は性状帷部のため、爬行規則による検査の基本回数で行う 月1回
おきといえびその化合物	3	カドミウム及びその化合物	0	0	0	0		0	
6 報及び手の任命物	4	水銀及びその化合物	0	0	0	0		0	* 3
子に表皮がその化合物			0	0	0	0		0	
8	6	鉛及びその化合物	0	0	0	0	C	1	% 1
9 申用金帳窓表	7	ヒ素及びその化合物	0	0	0	0		0	
10					0		_	-	※ 3
1 日			_	_	0		_		
22					0				
13 元 ジネタンドの化合物)		0	~	_	-	
1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 -	-				0	_	_		<u>*1</u>
15 1.4-ジェキャン					0	~	_		
10			_		0	_	_		
17 2クロロメタン					0	0	_		
13					0	0			* 3
10 リタロコエチレン					0	_	_		
20			_	_	\circ	_	_		
22 カロロ市旅					0	~			
22 クロロ酢酸			_	0	_	_	_	_	
23 クロコボルム 24 グラロコタン 35 グラモタロコタン 36 り ハロスタン 36 リリハロスタン 37 後とりハロスタン 30 プロモボルム 31 ボルムアルデドド 30 回数とその化合物 31 ボルムアルデドド 32 服的及びその化合物 33 アルマランム及びその化合物 33 アルマラン人及びその化合物 36 アトリウム及びその化合物 37 マンプリ及びその化合物 37 マンプリ及びその化合物 38 個化物イオン 39 は分かよ ブジが降 (硬度) 40 原発性関節性対 40 の の の は 株 ※2 41 原子は外部活性対 41 原子は外部活性対 42 ジュオスシン 43 原状は多な経験機関では対している機関 44 原子は外部活性対 45 の の の の は 株 ※2 44 ドルイメンドの冷水を接換器では対している機関 45 の の の の は 株 ※2 44 ドルイメンタの活の発 47 の の の の は 株 ※2 45 によりからなどの化合物 48 の の の の の は 株 ※2 46 におけるがは (運費) 47 に関係 48 の の の の の は 株 ※2 47 によりからなどの化合物 48 の の の の の は 株 ※2 48 に対しているのでは (運費) 49 によりがいる (運費) 40 によりがいる (運費) 40 によりがいる (運費) 41 によりがいる (運費) 42 によりがいる (運費) 43 によりがいる (運費) 44 によりがいる (運費) 45 によりがいる (運費) 46 によりがいる (運費) 47 に関係 48 によりがいる (運費) 49 によりがは (運費) 49 によりがは (運費) 40 によりがは (運費) 40 によりがは (運費) 40 によりがは (運費) 41 によりがは (運費) 42 によりがいる (運費) 43 によりがいる (運費) 44 によりがいる (運費) 45 によりがいる (運費) 46 に関係を全機機器でいるの (で) の は は 株 (で) の は は また (で) の は な な は (で) の は な な は (で) の は な な は (で) の は は また (で) の は な な は また (で) の は また (で) の は は また (で) の は は また (で) の は また (で) の は は					\circ				
24 ジブロロ部酸					_		_		
25 プロモクロロメタン ○ ○ ○ ○ 4 26 泉楽館 ○ ○ ○ ○ 4 27 徳トリハロメタン ○ ○ ○ ○ 4 28 トリクロロ酢酸 ○ ○ ○ ○ 4 29 プロモボルム ○ ○ ○ ○ 4 31 ボルルアルデヒド ○ ○ ○ ○ ○ 4 32 配名及びその化合物 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○							_		
26 展来酸					_	_	_		
27 後来リール 10 12 12 12 13 13 14 14 14 14 15 15 16 16 16 16 16 16					V				選車引生产機でも 5 分野でもも) 、 佐仁相印に トナ松木の甘木同数で伝え、 松木同数は1年に1回
28 トリグロロ酢酸					_	_			旧毎副生成物であり自略でさない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
29 プロモギクレロメタン ○ ○ ○ ○ 4 30 プロモボルム ○ ○ ○ ○ 4 31 沈ルムアルデヒド ○ ○ ○ ○ 4 32 31 沈ルムアルデヒド ○ ○ ○ ○ ○ 4 ※2 33 アルミーウム及びその化合物 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 4 ※2 34 鉄及びその化合物 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 1 ※1 51 53 銅及びその化合物 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					_				
30 プロモホルム					_		_		
31 ホルムアルデヒド									
32 亜鉛及びその化合物					_	_			
33 アルミニウム及びその化合物					_	_	_		×3
36 計入りつ					0				
35 網及びその化合物					0	~ .	_		
36					0	_	_		/A-1
37 マンガン及びその化合物					0	_	_		* 3
38 塩化物イオン					0				
39 対シウム・マグ・ネウム等(硬度)				_	0) .	12	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
40 蒸発残留物					0	0	_		
41 陰付ン界面活性剤					0	0			% 2
42 ジェオスミン ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			0		0	0	_		<u>*</u> 3
43 2-メチルイソボルネオール			0	0	0	0	T	0	W.A
45 フェノール類					0	0			X 4
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	44	非イオン界面活性剤	0	0	\circ	0)	1	
47 pH値		1 721	0	0	0	0		0	* 3
48 中央					0	_			
49 臭気				0	0	_			
49 長気		***			0	~ .	_		水道水の安全性又は性状確認のため 施行規則による絵杏の基本回数で行う 日1回
51 濁度					×				かたかい 人工は大阪は小阪 間が アルップ たけ ががしる が決 基準自然 くけ ノーガ に
52 電気伝導率					0				
53 残留塩素			0	0	0		_		
54 クワヷ トスポ ワジウム指標菌 大腸菌 0 55 クワプ トスポ ワジウム指標菌 嫌気性菌 0 56 クワプ トスポ ワジウム等 0 57 水質管理目標設定項目 0 58 浄水処理等関連項目 0 59 原水放射能検査 0					0	_	_		
55 クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌 0 56 クリプトスポリジウム等 0 57 水質管理目標設定項目 0 58 浄水処理等関連項目 0 59 原水放射能検査 0					0	0	_		
56 クリプトスポリシ゚ウム等 0 57 水質管理目標設定項目 0 58 浄水処理等関連項目 0 59 原水放射能検査 0				<u> </u>	Ш	4	_	-	
57 水質管理目標設定項目 0 58 浄水処理等関連項目 0 59 原水放射能検査 0					Ш	_	_		レベル1のため、指標菌及び原虫の検査を実施しない
58 净水処理等関連項目 0 59 原水放射能検査 0				<u> </u>	Ш	4			
59 原水放射能檢查 0				<u> </u>	Н	_	_		
					H	_			
60 コルフ場使用農業類				<u> </u>	Н	_	_		
	60	コルフ場使用農業類		<u> </u>				0	

	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
Ж3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
₩4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められるため省略
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

23:市川三郷町 (市川大門町) 06:八之尻・入簡水 水源の種類:深井戸

23:市川三郷町 (市川大門町) 06:八之尻・入簡水 - 水源の種類:深井戸								
過去の検査結果からの要確認検査項目								
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準				
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	23/03/08	2.50	1/5 OVER	10mg/L以下				
鉄及びその化合物	23/12/06	0.16	1/2 OVER	0.3mg/L以下				
カルシウム・マク゛ネシウム等(硬度)	24/06/05	110	1/5 OVER	300mg/L以下				
蒸発残留物	23/09/05	190	1/5 OVER	500mg/L以下				
塩素酸	23/09/05	0.12	1/10 OVER	0.6mg/L以下				
			_					
			_					

No. 検 査 項 目 名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1回)	2022	2023	今年! 検査! 数	計画設定理由
1 一般細菌	0	0	0	0	12	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -
2 大腸菌	0	0	0	0	12	「水道水の女主性又は性状魄認のため、爬打規則による快宜の基本回数で行う」月1回
3 カドミウム及びその化合物	0	0	0	0	0	
4 水銀及びその化合物	0	0	0	0	0	
5 セレン及びその化合物	0	0	0	0	0	
6 鉛及びその化合物	0	0	0	0	0	*3
7 ヒ素及びその化合物	0	0	0	0	0	
8 六価クロム化合物	0	0	0	0	0	
9 亜硝酸態窒素	0	0	0	0	0	
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0	0	0	0) 4	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0	0	0) 4	* 2
12 フッ素及びその化合物	0	0	0	0	0	
13 ホウ素及びその化合物	0	0	0	0	0	
14 四塩化炭素	0	0	0	0	0	
15 1,4-ジオキサン	0	0	0	0	0	
16 シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン	0	0	0	0	0	※ 3
17 ジクロロメタン	Ö	0	Õ	Ö	0	
18 テトラクロロエチレン	0	0	Õ	Ö	0	
19 トリクロロエチレン	0	0	Õ	Ō	0	
20 ベンゼン	0	0	Ö	0	0	
21 塩素酸	0	Ŭ	0	00) 4	
22 クロロ酢酸	0		O	00) 4	
23 クロロホルム	0		0	0 0		
24 ジクロロ酢酸	0		_	0 0	_	
25 ジブロモクロロメタン	0			0 0		
26 臭素酸	0		0	0 0	_	→ 消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
27 総トリハロメタン	0		0	0 0	_	
28 トリクロロ酢酸	0		0		_	
29 ブロモジクロロメタン	0		_	0		
30 ブロモホルム	0		_	0 0) 4	
31 ホルムアルデヒド	0		0	0 0		
32 亜鉛及びその化合物	0	0	0	0	0	
	0	0		0	0	→ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
33 アルミニウム及びその化合物	0	0	0	00) 4	
34 鉄及びその化合物 35 銅及びその化合物	0	0	0	0	0	
36 ナトリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	
37 マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	
	0	0		0	12	
38 塩化物イオン (不 (()) () () () () () () ()	0	0	0	0	_	
39 カルシウム・マグネシウム等 (硬度)			0	0 0) 4	- *2
40 蒸発残留物	0	0		0) 4	W.9
41 陰イオン界面活性剤	0	0		0	0	
42 ジェオスミン	0	0		0	0	
43 2-メチルイソボルネオール	0	0	\mathcal{C}	0	0	
44 非イオン界面活性剤	0	0	0	0 0	1	
45 フェノール類	0	0	0	0	0	
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0 0		
47 pH値	0	0	0	0 0	12	
48 味	0	_	0	0 0) 12	
49 臭気	0	0	0	0 0	12	
50 色度	0	0	0	0 0) 12	
51 濁度	0	0	0	0 0	12	
52 電気伝導率	 	!	\circ	0 0) 12	
53 残留塩素	<u> </u>	-	O	0 (12	
54 クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌	<u> </u>		\vdash	_	0	
55 クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌	<u> </u>	<u> </u>	Ш	_	0	
56 クリプトスポリジウム等	<u> </u>		Н	_	0	
57 水質管理目標設定項目	<u> </u>	<u> </u>	\perp	_	0	
58 浄水処理等関連項目	<u> </u>		Ш		0	
59 原水放射能検査	<u> </u>		Ш		0	
60 ゴルフ場使用農薬類					0	
					_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
Ж3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
₩4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められるため省略
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

23:市川三郷町 (市川大門町) 07:山保簡水 四尾連水系 水源の種類:深井戸・表流水

23:市川三郷町 (市川大門町) 07:山保間水 四尾連水糸 水	県の種類:深井	P · 衣流水		
	過-	去の検査結果からの要確認	忍検査項目	
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準
クロロホルム	24/06/05	0. 0239	1/5 OVER	0.06mg/L以下
ジクロロ酢酸	24/03/05	0.009	1/5 OVER	0.03mg/L以下
総トリハロメタン	24/06/05	0.0250	1/5 OVER	0.1mg/L以下
トリクロロ酢酸	24/06/05	0.011	1/5 OVER	0.03mg/L以下
アルミニウム及びその化合物	23/06/07	6. 5	1/2 OVER	0.2mg/L以下
鉄及びその化合物	23/06/07	1.7	1/2 OVER	0.3mg/L以下
マンガン及びその化合物	23/06/07	0.023	1/5 OVER	0.05mg/L以下
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	22/06/01	50	1/10 OVER	300mg/L以下
蒸発残留物	23/06/07	120	1/5 OVER	500mg/L以下

No.	検 査 項 目 名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1回)	2022	2023	今年 検査	:度 E回 t	計 画 設 定 理 由
1	一般細菌	0	0	0	0) 1	2	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
2	大腸菌	0	0	0	0	1	2	水道水辺女主性人は性小雑節のため、爬行焼刺による快宜の差本回数で行う。 月1回
3	カドミウム及びその化合物	0	0	0	0	()	
4	水銀及びその化合物	0	0	0	0	()	
5	セレン及びその化合物	0	0	0	0	()	
	鉛及びその化合物	0	0	0	0	()	*3
7	ヒ素及びその化合物	0	0	0	0	()	
8	六価クロム化合物	0	0	0	0	()	
9	亜硝酸態窒素	0	0	0	0	()	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0	0	0	0) 4	1	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0	0	0	()	
12	フッ素及びその化合物	0	0	0	0	()	
13	ホウ素及びその化合物	0	0	0	\circ	()	
14	四塩化炭素	0	0	0	0	()	
	1,4-ジオキサン	0	0	0	0	()	*3
	シスー1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン	0	0	0	0	(<i>'</i>
17	ジクロロメタン	0	0	0	0	()	
	テトラクロロエチレン	0	0	0	0	()	
	トリクロロエチレン	0	0	0	0	(
20	ベンゼン	0	0	0	0	()	
21	塩素酸	0		0	0) 4	1	
22	クロロ酢酸	0		0	0) 4	1	
23	クロロホルム	0		0	0) 4	1	
24	ジクロロ酢酸	0		0	0) 4	1	
25	ジブロモクロロメタン	0		0	0) 4	1	
26	臭素酸	0		0	0) 4	1	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
27	総トリハロメタン	0		0	0) 4	1	
28	トリクロロ酢酸	0		0	0) 4	1	
29	ブロモジクロロメタン	0		0	0) 4	1	
30	ブロモホルム	0		0	0) 4	1	
31	ホルムアルデヒド	0		0	0) 4	1	
32	亜鉛及びその化合物	0	0	0	0	()	* 3
33	アルミニウム及びその化合物	0	0	0	0) 4	1	*2
34	鉄及びその化合物	0	0	0	0) 4	1	% 2
35	銅及びその化合物	0	0	0	0	()	Wa .
36	ナトリウム及びその化合物	0	0	0	0	()	* 3
37	マンガン及びその化合物	0	0	0	0) 4	1	※ 2
38	塩化物イオン	0	0	0	0	1	2	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	0	0	0	0) 1	_	% 1
40	蒸発残留物	0	0	0	0) 4	1	* 2
41	陰イオン界面活性剤	0	0	0	0	()	* 3
	ジェオスミン	0	0	0	0	()	% 4
	2-メチルイソボルネオール	0	0	0	0	()	MT
44	非イオン界面活性剤	0	0	0	0) 1		※ 5
45	フェノール類	0	0	0	0	()	※ 3
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	1	2	
47	pH値	0	0	0	0) 1	2	
48	味	0		0	0) 1	2	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
49	臭気	0	0	0	0) 1	2	小坦小ツ女主は人はほ仏睡恥切たの、爬11 M別による便且り整个四数(11 / 月1回
50	色度	0	0	0	0) 1	2	
51	濁度	0	0	0	0) 1	2	
52	電気伝導率			0	0) 1	2	
53	残留塩素			0	0	1	2	
54	クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌					1	2	
	クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌					1	2	レベル4のため、指標菌は1回/月、原虫は1回/3ヶ月にて検査を実施する
56	クリプトスポリジウム等					4		
	水質管理目標設定項目					(
	浄水処理等関連項目				T	()	
				П	T	()	
	ゴルフ場使用農薬類			П	T	()	

※ 1	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
※ 3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
₩4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められるため省略
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

23:市川三郷町 (市川大門町) 09:山保簡水 新四尾運水系	水源の種類:深	开尸				
過去の検査結果からの要確認検査項目						
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準		
アルミニウム及びその化合物	24/09/03	0.12	1/2 OVER	0.2mg/L以下		
鉄及びその化合物	24/09/03	0.09	1/5 OVER	0.3mg/L以下		
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	24/09/03	52	1/10 OVER	300mg/L以下		
蒸発残留物	24/09/03	93	1/10 OVER	500mg/L以下		

No. 検 査 項 目 名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1回)	2022	2023 2024	今年度 検査回 数	計 画 設 定 理 由
1 一般細菌	С	()	2	0	12	
2 大腸菌	0	0		0	12	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
3 カドミウム及びその化合物	0	0	Н	0	4	
4 水銀及びその化合物	0	0		0	4	
5 セレン及びその化合物	0	Ö		0	4	
6 鉛及びその化合物	0	0		0		% 6
7 ヒ素及びその化合物	0	Ö	H	0	4	^~
8 六価クロム化合物	0	0		0	4	
9 亜硝酸態窒素	0	Ö	H	0	4	1
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0	O		0	4	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0	П	0	4	再年的上版がくのプロのくとはV
12 フッ素及びその化合物	0	Ö	H	0	4	1
13 ホウ素及びその化合物	0	0	H	0	4	1
14 四塩化炭素	0	0		0		†
15 1, 4-ジオキサン	0	Ö	H	0	4	1
16 シスー1, 2ーシ クロロエチレン及びトランスー1, 2ーシ クロロエチレン	0	0	H	0	4	* 6
17 ジクロロメタン	0	0	\vdash	0	4	
18 テトラクロロエチレン	0	0	H	0	4	
19 トリクロロエチレン	0	0	H	0	4	
20 ベンゼン	0	0	H	0		
	0	U			4	
21 塩素酸	_		H	0	4	
22 クロロ酢酸	0			0	4	
23 クロロホルム	0)	4	
24 ジクロロ酢酸	0		Н	0	4	
25 ジブロモクロロメタン	0		Н	0	4	
26 臭素酸	0		Ш	0	_	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
27 総トリハロメタン	0			0	4	
28 トリクロロ酢酸	0			0	4	
29 ブロモジクロロメタン	0		Ш	0	4	
30 ブロモホルム	0			0	4	
31 ホルムアルデヒド	0			0	4	
32 亜鉛及びその化合物	0	0	Ш	0	4	
33 アルミニウム及びその化合物	0	0	Ш	0	4	
34 鉄及びその化合物	0	0	Ш	0	4	% 6
35 銅及びその化合物	0	0	Ш	0	4	<u></u>
36 ナトリウム及びその化合物	0	0	Ш	0	4	
37 マンガン及びその化合物	0	0	Ш	0	4	
38 塩化物イオン	0	0	Ш	0		水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
39 カルシウム・マグネシウム等(硬度)	0	0		0	4	
40 蒸発残留物	0	0		0	4	
41 陰イオン界面活性剤	0	0	Ш	0	4	
42 ジェオスミン	0	0	Ш	0		* 6
43 2-メチルイソボルネオール	0	0	Ш	0	-	
44 非イオン界面活性剤	0	0	Ш	0	4	
45 フェノール類	0	0	Ш	0	4	
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0		0	12	
47 pH値	0	0		0	12	
48 味	0			0	12	 水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
49 臭気	0	0		0	12	かたカックユエスは山外電影シルツ、地口が対しまる状色が進作自然(ロブーカ1回
50 色度	0	0		0	12	
51 濁度	0	0		0	12	
52 電気伝導率			Ш	0	12	
53 残留塩素			Ш	0	12	
54 クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌					0	
55 クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌		L	آلل		0	レベル1のため、指標菌及び原虫の検査を実施しない
56 クリプトスポリジウム等					0	
57 水質管理目標設定項目					0	
58 浄水処理等関連項目					0	
59 原水放射能検査					0	
60 ゴルフ場使用農薬類					0	
An an an an an an an an an		•	• •			•

※ 1	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
※ 3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
※ 4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

24:市川三郷町 (六郷町) 01:中央簡水 水源の種類:深井戸・伏流水

24:市川三郷町 (六郷町) 01:中央間水 水源の種類:深井				
	過	去の検査結果からの要確認	恩檢查項目	
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	23/03/08	2. 20	1/5 OVER	10mg/L以下
フッ素及びその化合物	24/06/05	0.10	1/10 OVER	0.8mg/L以下
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	24/06/05	110	1/5 OVER	300mg/L以下
蒸発残留物	24/06/05	200	1/5 OVER	500mg/L以下
塩素酸	23/09/05	0.07	1/10 OVER	0.6mg/L以下
_				
_				

No.	検 査 項 目 名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1回)	2022	2023	今検	年度 査回 数	計 画 設 定 理 由
1	一般細菌	0	0	0	0	Э	12	1. 学よのか人地立は地小砂型のとは、特に相助は 1.7 M 木のサナロ料でに 2. B - B
2	大腸菌	0	0	0	0	Э	12	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
3	カドミウム及びその化合物	0	0	0	0		0	
4	水銀及びその化合物	0	0	0	0		0	
5	セレン及びその化合物	0	0	0	0		0	
6	鉛及びその化合物	0	0	0	0		0	* 3
7	ヒ素及びその化合物	0	0	0	0		0	
8	六価クロム化合物	0	0	0	0		0	
9	亜硝酸態窒素	0	0	0	0		0	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0	0	0	0	Э	4	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0	0	0	Э	4	* 2
12	フッ素及びその化合物	0	0	0	0	О	1	% 1
13	ホウ素及びその化合物	0	0	0	0		0	
	四塩化炭素	0	0	0	0		0	
15	1,4-ジオキサン	0	0	0	0		0	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0	0	0	0		0	Wa .
17	ジクロロメタン	0	0	0	0		0	* 3
	テトラクロロエチレン	0	0	0	Ō	_	0	
	トリクロロエチレン	0	0	0	0	T	0	
	ベンゼン	0	0	_	Ō	_	0	
21	塩素酸	Ö		0	0	C	4	
22	クロロ酢酸	0		0	0	Э	4	
	クロロホルム	0		0	0	5	4	
	ジクロロ酢酸	0		0	0		4	
	ジブロモクロロメタン	0		0	0)	4	
	臭素酸	0			0			消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
	総トリハロメタン	Ō			0		4	
	トリクロロ酢酸	0		Ō	0		4	
	ブロモジクロロメタン	0			0		4	
	ブロモホルム	0			0		4	
	ホルムアルデヒド	0			0		4	
	亜鉛及びその化合物	0	0	0	0	_	0	
	アルミニウム及びその化合物	0	0	Ō	Ō	_	0	
	鉄及びその化合物	Ō	Ō	0	0		0	Ma.
	銅及びその化合物	0	0	Ō	Ō	_	0	* 3
	ナトリウム及びその化合物	0	0	0	0		0	
	マンガン及びその化合物	Ō	Ō	Ō	Ō	_	0	
38	塩化物イオン	0	0	0	0	Э	12	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
	カルシウム・マケ゛ネシウム等(硬度)	0	Ö	0	0	_	4	
	蒸発残留物	Ō	Õ	0	0	_	4	* 2
	陰イオン界面活性剤	Ö	Ö	0	0	_	0	** 3
	ジェオスミン	Ō	Õ	Ō	Ö	_	0	W.I
	2-メチルイソボルネオール	0	Ö	Ö	Ō	_	0	* 4
	非イオン界面活性剤	0	0	Ó	0		1	% 5
	フェノール類	0	Ö	Ö	0		0	*** 3
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	O	0	_	12	
	pH値	0	0	_		_	12	
	味	0		0	0	_	12	
	臭気	0	0	0	0		12	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
	色度	0	0	\sim	0		12	
	濁度	0	0	0	0	_	12	
	電気伝導率		V		0		12	
	残留塩素				0		12	
	クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌			Ĭ			12	
	クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌			H	\dashv	_	12	楠甫水源がレベル3のため、指標菌は1回/月、原虫は1回/3カ月にて検査を実施する
	クリプトスポリジウム等			H	\dashv	_	4	THE THE PARTY OF T
	水質管理目標設定項目			H	+		0	
				H	+	_	0	
	原水放射能検査			H	+	_	0	
	ゴルフ場使用農薬類			H	+	_	0	
	/ · / 勿 区/H DC 不 75(~	

※ 1	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
₩3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
₩4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められるため省略
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

24:市川三郷町 (六郷町) 02:岩下簡水 水源の種類: 湧水

24:市川三郷町 (六郷町) 02:岩下間水 水源の種類:湧水				
	過:	去の検査結果からの要確認	忍検査項目	
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	22/06/01	1.30	1/10 OVER	10mg/L以下
クロロホルム	24/09/03	0.0098	1/10 OVER	0.06mg/L以下
総トリハロメタン	24/09/03	0.0120	1/10 OVER	0.1mg/L以下
アルミニウム及びその化合物	22/12/07	2. 7	1/2 OVER	0.2mg/L以下
鉄及びその化合物	22/06/01	0.23	1/2 OVER	
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	23/09/05	130	1/5 OVER	300mg/L以下
蒸発残留物	23/09/05	240	1/5 OVER	500mg/L以下

No.	検 査 項 目 名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1回)	2022	2023	今年 検査 数	度回	計 画 設 定 理 由
1	一般細菌	0	0	0	0	1	2	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
2	大腸菌	0	0	0	0	1:	2	が退水の女主性人は性が作能のため、爬行規則による快宜の基本回数で行う。 月1回
3	カドミウム及びその化合物	0	0	0	0	0)	
	水銀及びその化合物	0	0	0	0	0)	
5	セレン及びその化合物	0	0	0	0	0)	
	鉛及びその化合物	0	0	0	0	0)	※ 3
7	ヒ素及びその化合物	0	0	0	0	0)	
8	六価クロム化合物	0	0	0	0	0)	
9	亜硝酸態窒素	0	0	0	0	0)	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0	0	0	0) 4	Į.	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0	0	0) 1		% 1
	フッ素及びその化合物	0	0	0	0	0)	
	ホウ素及びその化合物	0	0	0	0	0)	
14	四塩化炭素	0	0	0	0	0)	
	1,4-ジオキサン	0	0	0	0	0		
	シスー1, 2-ジクロロエチレン及びトランスー1, 2-ジクロロエチレン	0	0	0	0			※ 3
	ジクロロメタン	0	0	0	0	0	_	
	テトラクロロエチレン	0	0	0	0	0		
	トリクロロエチレン	0	0	0	0	0		
	ベンゼン	0	0	0	0	0		
	塩素酸	0		_	0	_	-	
	クロロ酢酸	0		0	0) 4	Į.	
	クロロホルム	0		0	0) 4	ļ.	
	ジクロロ酢酸	0			0) 4	Į.	
25	ジブロモクロロメタン	0		0	0) 4	Į.	
26	臭素酸	0		0	0) 4	1	消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回
	総トリハロメタン	0		0	0) 4	ļ.	
28	トリクロロ酢酸	0		0	0) 4		
29	プロモジクロロメタン	0		0	0) 4	Į.	
30	ブロモホルム	0		0	0) 4	Į.	
31	ホルムアルデヒド	0		0	0) 4		
32	亜鉛及びその化合物	0	0	0	0	0)	% 3
33	アルミニウム及びその化合物	0	0	0	0) 4	Į.	*2
34	鉄及びその化合物	0	0	0	0) 4	Į.	W.C
35	銅及びその化合物	0	0	0	0	0)	
	ナトリウム及びその化合物	0	0	0	0	0		※ 3
	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0		
	塩化物イオン	0	0	0	0	_		水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	0	0	0	0) 4		*2
	蒸発残留物	0	0	0	0) 4		
	陰イオン界面活性剤	0	0	0	0	0		* 3
	ジェオスミン	0	0	0	0	0		*4
	2-メチルイソボルネオール	0	0	0	0	0	_	
	非イオン界面活性剤	0	0	0	0) 1		% 5
	フェノール類	0	0	0	0	0)	* 3
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0 0	1:		
	pH値	0	0	0	0) 1:		
	味	0		0	0) 1:	-	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回
	臭気	0	0	0	0) 1:		かたかい 人工は大阪は小阪のグルマン、地口が大阪である状態が基準自然(日) 月1日
	色度	0	0	0	0) 1:		
	濁度	0	0	0	00	1:	-	
	電気伝導率			0	0) 1:	-	
	残留塩素			0	0	1	-	
	クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌			Ш		13	_	
	クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌			Ш		_	-	レベル3のため、指標菌は1回/月、原虫は1回/3ヶ月にて検査を実施する
	クリプトスポリジウム等			Ш		4		
	水質管理目標設定項目			Ш	_	0	-	
	浄水処理等関連項目			Ш		0	_	
	原水放射能検査			Ш		0	_	
60	ゴルフ場使用農薬類					0)	

※ 1	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
₩3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
₩4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められるため省略
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する

24:市川三郷町 (六郷町) 06:網倉・五八簡易水道 水源の種類:湧水

24: 市川三郷町 (六郷町) 06: 網倉・五八間易水迫 水源の)種類:湧水								
過去の検査結果からの要確認検査項目									
検 査 項 目 名	検査日	結果	状態	水質基準					
セレン及びその化合物	24/03/05	0.002	1/10 OVER	0.01mg/L以下					
鉛及びその化合物	24/09/03	0.002	1/10 OVER	0.01mg/L以下					
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	24/09/03	1.80	1/10 OVER	10mg/L以下					
フッ素及びその化合物	23/09/05	0.13	1/10 OVER	0.8mg/L以下					
ホウ素及びその化合物	23/12/06	0.16	1/10 OVER	1.0mg/L以下					
クロロホルム	23/06/07	0.0072	1/10 OVER	0.06mg/L以下					
アルミニウム及びその化合物	22/06/01	0.18	1/2 OVER	0.2mg/L以下					
鉄及びその化合物	22/06/01	0.12	1/5 OVER	0.3mg/L以下					
ナトリウム及びその化合物	22/09/07	95	1/5 OVER	200mg/L以下					
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	24/03/05	330	1/2 OVER	300mg/L以下					
蒸発残留物	22/09/07	540	1/2 OVER	500mg/L以下					

No.	検査項目名	浄水全 項目	原水全項 日(年に 1回)	2022	2023	今年!	計画設定理由	
1	一般細菌	0	1 🖽)	2	00	数 12		
	大腸菌	0	0	0	00	12		
	カドミウム及びその化合物	Ö		0	00			
	水銀及びその化合物	0			00			
	セレン及びその化合物	0			00	_		
	鉛及びその化合物	0	Ö		00		1 %6	
	ヒ素及びその化合物	0	0		00			
	六価クロム化合物	Ŏ	Ö	C	00) 4		
	亜硝酸態窒素	O	0	С	00			
	シアン化物イオン及び塩化シアン	0	0		00		消毒副生成物であり省略できない 施行規則による検査の基本回数で行う 検査回数は1年に4回	
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	Ö	Ō	C	00) 4	The desired to the second seco	
	フッ素及びその化合物	0	_	Ŏ	00			
	ホウ素及びその化合物	Ö	Ō	-	00	_		
	四塩化炭素	Ö	Ö	\circ	00) 4		
	1,4-ジオキサン	0	0) (00) 4	7	
	シスー1,2ーシ、クロロエチレン及びトランスー1,2ーシ、クロロエチレン	0	0	0	00			
	ジクロロメタン	0	0	0	00) 4	1	
	テトラクロロエチレン	0	Ö	0	00		1	
	トリクロロエチレン	0	0	_	00		- 	
	ベンゼン	0	0	Č	00) 4		
	塩素酸	0	Ĭ	0	00			
	クロロ酢酸	0		0	00			
	クロロホルム	0			00			
	ジクロロ酢酸	0		_	00			
	ジブロモクロロメタン	0			00			
	臭素酸	0		0	00	_		
	総トリハロメタン	0			00			
	トリクロロ酢酸	0			00			
	ブロモジクロロメタン	Ö			00		7	
	ブロモホルム	Ō			00		7	
	ホルムアルデヒド	Ö			00			
	亜鉛及びその化合物	0	0	0	00	_		
	アルミニウム及びその化合物	0	0	0	00			
	鉄及びその化合物	0	0	C	00) 4		
	銅及びその化合物	0	0	С	00) 4	<mark>-</mark> %6	
	ナトリウム及びその化合物	0	0	0	00) 4		
	マンガン及びその化合物	0	0	0	00) 4		
	塩化物イオン	0	0	0	00	12	水道水の安全性又は性状確認のため、施行規則による検査の基本回数で行う 月1回	
	カルシウム・マク゛ネシウム等(硬度)	0	Ō	0	00) 4		
	蒸発残留物	Ö	Ŏ	Ō	00	_		
	陰化以界面活性剤	0	Ō	O	00) 4	-	
	ジェオスミン	Õ	Ŏ	0	00	_		
	2-メチルイソボルネオール	O	Õ	O	00			
	非イオン界面活性剤	Õ	Ŏ	0	00) 4		
	フェノール類	O	Õ	O	00			
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	Ö	0	00	_		
	pHéi	Ö	Ö	Ŏ	00	12		
	味	0		0	00	12		
	臭気	Ö	0	Ŏ	00	12	→ 水油水(/) 光全性 V (1性状解裂(/) ため 腕行規則に「 5 種金(/) 長木田(数で行う 目 1回	
	色度	0	0	0	00	12		
	濁度	0	0	Ō	00	12		
	電気伝導率			0	00	12		
	残留塩素			0	00	12		
	クリプトスポリジウム指標菌 大腸菌			Ť	T	12		
	クリプトスポリジウム指標菌 嫌気性菌					12	レベル3のため、指標菌は1回/月、原虫は1回/3ヶ月にて検査を実施する	
	クリプトスポリジウム等					4		
	水質管理目標設定項目					0		
	浄水処理等関連項目					0		
	原水放射能検査					0		
	ゴルフ場使用農薬類					0		

₩1	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えているので検査回数は1年に1回
※ 2	過去3年間の検査結果が基準値の5分の1を超えているので検査回数は1年に4回
※ 3	過去3年間の検査結果が基準値の10分の1を超えていないので検査回数は3年に1回 一昨年行っているので本年は検査しない
₩4	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 5	過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案した結果省略可能だが、安全性確認のため年に1回検査する
※ 6	水道法の検査必要回数に従い年に4回検査する